

# 池辺寺リポート

3  
第3号

平成25年1月発行

## ◎保存整備工事が始まりました

**史跡池辺寺跡の保存整備事業は、短期・中期・長期の3段階で実施する計画になっています。短期整備では国史跡に指定されている百塚地区と金子塔が対象で、平成24年6月より工事が始まりました。平成28年3月までの予定です。**

百塚地区では、本堂建物の建築は行なわず、発掘調査で遺跡が見つかった状態を再現して展示することになりました。遺跡を適切に保存することを最も重視しながら、発見時の迫力と感動が伝わるように整備します。24年度は主に百基の石塔が並ぶ区域の整備工事を行ない、25年度からは本堂建物域・西平山公園設備・崖面盛土工事にも着手します。

工事期間中は立ち入りできない箇所もありますので、見学時にはご注意ください。



木を伐採して整備工事に着手



石を移動



百塔域での盛土保護



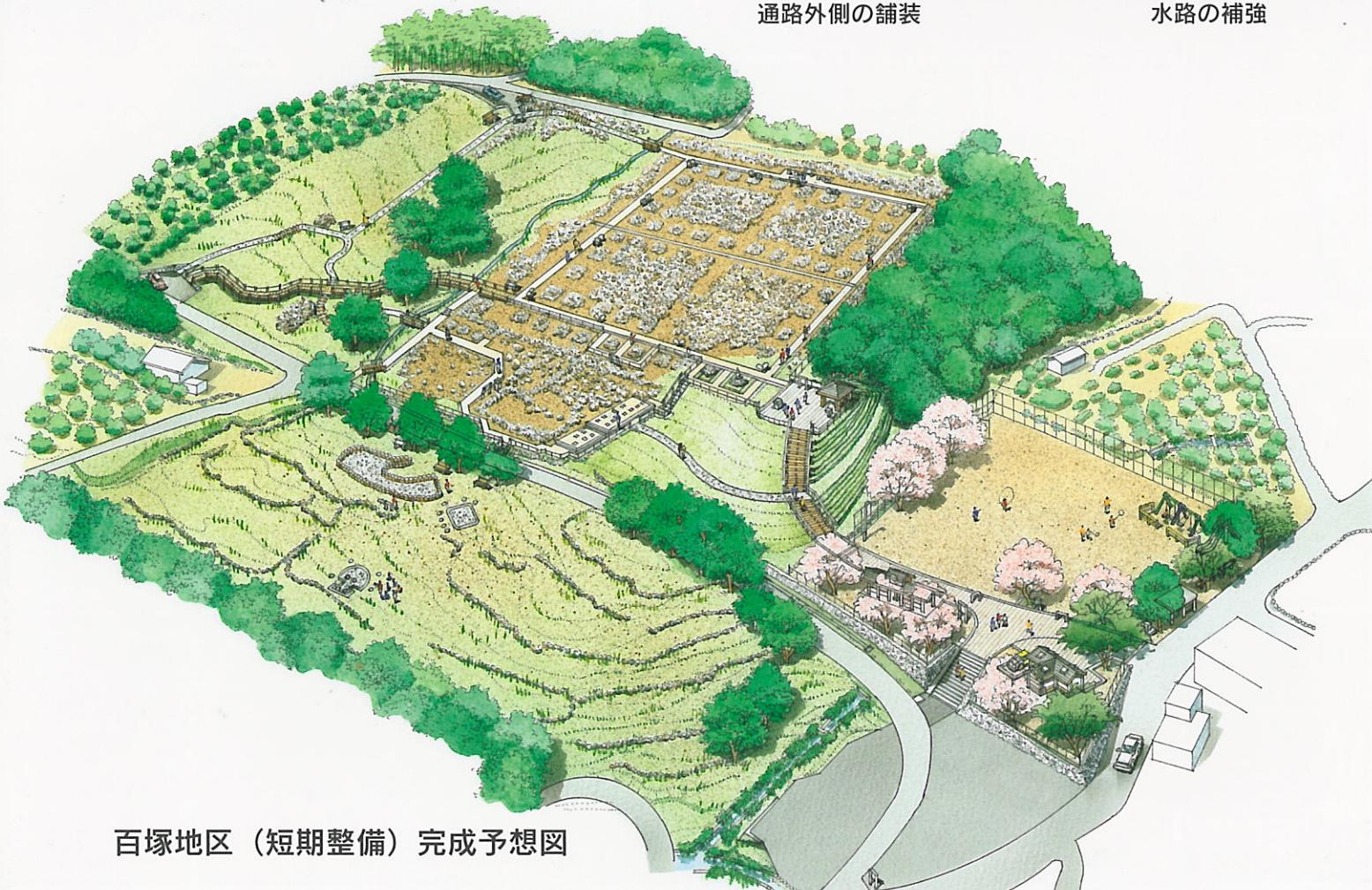
通路部分の舗装



通路外側の舗装



水路の補強





金子塔地区で発見された石積み



百塚地区の見学会



体験授業（熊本市立池上小学校）

## ◎平成24年の活動成果

### [調査]

- 百塚地区：図面作成作業など
- 金子塔地区：確認調査・踏査など

### [講演・展示など]

- 展示中：金峰山少年自然の家にて池辺寺跡出土土器・瓦を展示  
：熊本市埋蔵文化財資料室にて「史跡池辺寺跡出土品」を常設展示
- 定期講座：熊本市埋蔵文化財資料室講座「池辺寺Ⅰ」全10回  
：池上地域コミュニティセンター講座「池辺寺Ⅱ」全12回
- 講座：1月15日（埋蔵文化財資料室考古学体験学習講座  
「池辺寺の発掘成果」）
- 池辺寺観音祭講話：9月10日「池辺寺の僧」
- 地域行事展示：2月12日（池上小学校「味生祭」）
- 体験授業：5月16日（池上小学校6年生）
- 職員研修：7月30日（池上小学校「池辺寺縁起絵巻」）
- 出前講座：11月22日
- 団体見学（ウォーキングガイド）  
：4月15日、5月6日、11月13日



床に敷かれた壇

## ◎出土品の紹介③ 塼 (せん)

百塚地区で発見された本堂建物群の中心建物の床には、**塼**<sup>せん</sup>と呼ばれる素焼きのレンガが敷かれていきました。通常は板床か土間ですが、格式の高い寺の中心となる建物には焼き物や石で作られた塼が使われます。

床の中央は、一辺180cmの正方形の部分だけ塼があります。おそらく**須弥壇**(ご本尊を安置する壇)があつたのだと思われます。



五鈸鈴



縁起絵巻に描かれた五鈸鈴

## ◎宝物の紹介③

### 五鈸鈴 (ごこれい) · · · 県指定文化財

仏敵や煩惱を打ち破るための鈸杵と、心を清め悟りを呼び起こすための鈴が一体となったものです。池辺寺に伝わるものは鈸が5つなので、五鈸鈴といいます。

縁起絵巻では池辺寺の仙海和尚が師である無動寺の相応から受け継いだものとされていますが、平安時代後期の作品のようです。悪龍の毒気によって金色から黒く変色したのだそうです。



熊本市立池上小学校  
3年生児童(平成24年度)  
の作品です。  
あじうのいけ  
「味生池と龍」伝説を  
描いています。



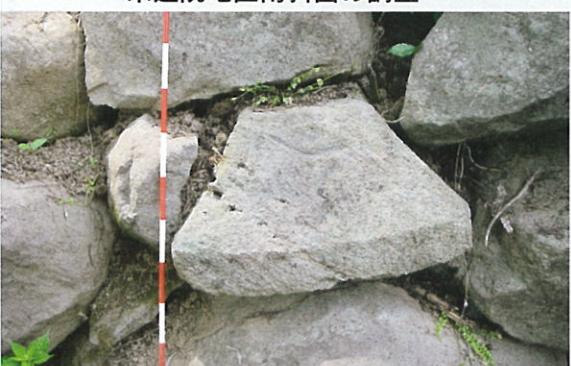
独鉱山から見た調査地



低地（味生池）の調査



来迎院地区南斜面の調査



石垣に使われた五輪塔



## ◎西環状道路建設地の発掘調査

西環状道路は県道ですが、政令市移行によって市事業となり、24年度からは遺跡発掘調査も熊本市役所が行なっています。

道路は味生池の西端から谷尾崎町へと伸びますが、中世以降に池辺寺の関連地だったと思われる来迎院・馬場上地区を通るため発掘調査を行ないます。24年度は来迎院地区の南斜面と低地（味生池）にかけての区域が対象です。

来迎院地区南斜面は中世・近世の小規模な寺があったようですが、畠造成によってわずかな痕跡しか留めていませんでした。畠の石垣には五輪塔が多く利用されています。

低地では古墳時代や弥生時代の土器がたくさん出土しますが、味生池は奈良時代の構築ですので、池辺寺とは関連のない時代のものです。



### お問い合わせ

**熊本市役所文化振興課  
埋蔵文化財調査室**

電話  
**096-328-2740**

メール  
[maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp](mailto:maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp)